

9月18日（木）に開催された実践研究部会での活動を紹介します。

今回の参加者のみなさん

瀧田 健司先生（神沢中）、川野 祐二先生（本城中）、表 普一先生（東陵中）、
佐々 孝先生（御田中）、安武 宏先生（高針台中）、阿比留慶治先生（山王中）、
沖 知憲先生（日比野中）、丹羽 良平先生（当知中）、山下 剛史先生（沢上中）、
佐藤 智久先生（日比野中）、佐藤 友哉先生（港北中）、宮田将太郎先生（港南中）、
田舎片 雄貴先生（萩山中）、小林 正嵩先生（城山中）

秋の授業公開に向けて

日比野中学校の佐藤智久先生の授業を検討しました。この授業では、生徒が自ら問い合わせ、探究していく姿を目指しています。

今回は、生徒が探究可能な問い合わせをつくるためのワークシートである「探究のための？？？カード」や「問い合わせカード」の内容や活用方法を中心に意見交換が行われました。

また、授業展開や場面設定についても、前回より具体的な話し合いが行われました。



【実践について話し合う様子】

○ 授業検討で出た課題・意見

- 「問い合わせカード」を用いて、生徒それぞれが探究可能な問い合わせにレベルアップさせることができる授業にしたい。
- 「問い合わせカード」を用いたとしても、時間内にすべての生徒が一人で「問い合わせ」を練り上げるのは難しいのではないか。
- 「問い合わせ」を個人で考えた後に、他者と話し合って意見する場をつくるのも一つの手。意見交換の時間があると、個人だけで考えるよりも、より高められた問い合わせをつくることができるのではないか。
- 前時までの「探究のための？？？カード」の使い方が大きな鍵になる。「科学的で探究的な問い合わせ」を日頃から意識させることが大切だ。

名理会 秋の授業公開

令和7年10月21日（火）13:00～ 日比野中学校本校舎にて 授業者：佐藤智久先生

実践単元：中2 「生物の体のつくりとはたらき」 みんなで探Qクラブ

☆ 実践研究部会に参加してみたい・授業公開を参観したいという方は、

これまでの参加者に直接連絡するか、右の二次元コードからフォームに入力し、お申し込みください。（名理会だより第116号参照）

